

ノートの取り方

皆さんは、講義や授業では、きちんとしたノートを取ることが学びの基本であることは承知していると思います。しかし、その目的は明確になっていますか？なぜノートをとるのでしょうか？

1 ノートをとる目的

- (1) ノートをとること＝授業に集中できる。知識が頭に残りやすい。
- (2) ノートは、後から振り返ることのできる有用な情報となる。
- (3) 先生の話された事をノートにとることで、分かりやすくなる。
- (4) 先生の話された事をノートにとることで、要約力が高まる。
- (5) 理解できなかったこと、疑問点について書き留める。

つまり、

- ・ 授業を振り返って学んだことを思い起こせるノート
- ・ 講義内容の要点が一目でわかるノート
- ・ 理解できなかったことや疑問なことについて明らかにできるノート

2 高校の授業と大学の授業の違い

高校の授業	大学の授業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書に沿って進められる ・ 毎回の授業内容は細かく決まっている。 ・ 黒板にきれいに書いてくれる ・ ノートは板書内容を書き写すことが基本 ・ ここがポイントだという所を、授業中はっきり示してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方の個性豊かなスタイルで進む ・ 知識を伝達するだけの場ではなく、皆さんの問題意識を掘り起こして、討論する場にしようとしている。 ・ 板書することより、皆さんに語りかける比重が大きい。 ・ 板書を書き写す作業だけだと、振り返った時に何を学んだのかわからない。 ・ 重要な箇所だと明確にされないこともある。

3 いくつかのノートの取り方へのヒント

(1) 重要な点を見分ける。

重要度の高い内容の場合	重要度の低い内容の場合
<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返す ・ 抑揚がある ・ 大きな声 ・ はっきり、ゆっくりなテンポ ・ 発話の前後に間がある ・ 「いいですか」 念を押す言葉 ・ 真面目な表情 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらっと流した感じ ・ 平板な ・ 小さな声 普段の大きさの声 ・ 早口 ・ 間が無く次から次へと ・ 「例えば」「横道にそれますが」 ・ 柔らかい表情

人は話し言葉の2割しか書く事ができないと言われています。ぜひ、上記を参考にして、先生の発話の中から何が重要なかを聴き取り、そうで無い部分は切り捨てて、ノートをとるように心がけましょう。

(2) 重要な点がすぐわかるようにするために、色を使う。

自分なりのルールを作ってみましょう！

- ・ 授業の中での大事な部分 ⇒ 最重要：**蛍光マーカー+赤**
重要：**蛍光マーカー**
- ・ 自分で疑問に思った部分 ⇒ **青**のペンでチェック、**☆**印をつける

(3) 授業が終わったら、その日のうちにノートを見て振り返ります。

- ・ 今日の授業のキーワード・短い字句を考えてノートに書き込みます。この作業が、授業内容を、後から簡単に思い出すことに繋がります。(Bキュー部分)
- ・ 理解できなかったことや疑問点を調べ、その部分に貼り付けたり、ノートに追加したりしておく。
- ・ 最後に、講義内容を1行程度の短い文にまとめてノートに書き出します。(Cサマリー部分)

